

【NEWS RELEASE】

2020年3月27日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社ウテナに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行(頭取CEO:高島 誠)は、株式会社ウテナ(代表取締役社長:青崎 正紀)に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:谷崎 勝教)が、企業のSDGs()に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ(ロジック)を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社ウテナについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

環境・社会に配慮した商品提供を通じた持続可能な社会形成への貢献、消費者に対する持続可能な意識の醸成

目標 12 つくる責任 つかう責任	ターゲット 12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
	ターゲット 12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

化粧品の体験教育を通じた次世代人材育成への貢献

目標 4 質の高い教育を みんなに	ターゲット 4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	ターゲット 9.5 2030年までにイノベーションを促進させることや100万人当たりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとする全ての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。

高知県北川村と協働したゆず油プロジェクトにより、「北川村ゆず」のブランド化を図り、ゆず農家の所得向上、農産物を活用した新製品・技術の開発及び地域活性化への貢献

<p>目標 2 飢餓をゼロに</p>	<p>ターゲット 2.3 2030 年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。</p>
<p>目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>ターゲット 9.5 2030 年までにイノベーションを促進させることや 100 万人当たりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとする全ての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。</p>
<p>目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>ターゲット 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</p>

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



ゆず油 無添加ヘアオイル



ゆずの産地 高知県北川村との協働

<ご参考>

SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。